

平成21年6月23日

## 宮崎県における一酸化炭素中毒事故について

6月22日(月) 宮崎県内の保育園の調理室において、ガスコンロを使用し調理をしていた調理師2名が一酸化炭素中毒(軽症)となり、病院へ搬送される事故が発生した旨報告がありました。

### 1. 事故の概要

6月22日(月) 宮崎県内の保育園の調理室において、ガスコンロを使用し調理をしていた調理師2名が一酸化炭素中毒(軽症)となり、病院へ搬送される事故が発生した旨、高圧ガス保安法に基づき、23日(火)に、同園に液化石油ガスを販売していた事業者(株式会社M i s u m i)から宮崎県及び原子力安全・保安院九州産業保安監督部に報告がありました。原因は、密閉した調理室内でガスコンロを使用したことから、給排気が不十分になり不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒に至ったものと推定されますが、詳細は現在調査中です。

上記と同様の情報を原子力安全・保安院のホームページに掲載しますのでお知らせします。

### 【掲載箇所】

[http://www.nisa.meti.go.jp/9\\_citygas/gas\\_accident.htm](http://www.nisa.meti.go.jp/9_citygas/gas_accident.htm)

### 【掲載内容】

事業形態： 液化石油ガス販売事業

ガス種： LPガス

事故発生日時：平成21年6月22日(月)10時45分頃

事故発生場所：宮崎県

被害状況： 人的被害：一酸化炭素中毒(軽症)2名

物的被害：なし

事故概要： 保育園の調理室において、ガスコンロを使用し調理をしていた調理師2名が一酸化炭素中毒(軽症)となり、病院へ搬送された。原因は、密閉した調理室内でガスコンロを使用したことから、給排気が不十分になり不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒に至ったものと推定されるが、詳細は現在調査中。

機器分類：業務用4口コンロ、3連コンロ

(参考情報) 製造者、型式、製造年：不明(機器が古いいため判別できず)

## 2. 注意喚起について

ガス機器を使用する際は、必ず換気を行って下さい。

- ・ ガスが燃焼するには新鮮な空気(酸素)が必要です。空気が不足すると、不完全燃焼をおこし、一酸化炭素中毒の原因となり、死亡事故につながる可能性があります。
- ・ 燃焼器を使用する際は、給気が十分か確認した上で、換気扇及びその他換気装置を使用して下さい。

(本発表資料のお問い合わせ先)

原子力安全・保安院 液化石油ガス保安課

担当者：五十嵐、菊池

電話：03 - 3501 - 1511 (内線 4951 ~ 3)

03 - 3501 - 1672 (直通)